



森の楽校だより

VOL. 29

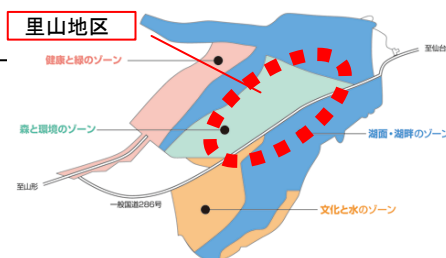


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成 26 年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成 24 年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にベンチづくりなど活動の場を広げていきます。



3 月 16 日（土）晴れ 平成 24 年度「森の楽校」最終回

ついにツリーハウスが完成しました!!

平成 24 年度の活動は 4 月 21 日の 1 回目から約 11 か月の間に、計 29 回行われました。

活動当初は、ファーストデッキの手摺、階段づくりから始まり、作業小屋づくり、ベンチづくりなどを並行して行いながら、足場の組み立て、セカンドデッキづくりなどを経て、ついに今回、ツリーハウスが完成し活動終了となりました。



家具づくり

ツリーハウスの小屋の中に置くとテーブルも最後にテーブルの脚を取り付け、無事に完成しました。



手摺づくり

セカンドデッキの手摺は、格子となる角材の加工をし、1面分の取り付けを行いました。



最後のお昼

これまで、カレーや芋煮など様々なお昼ご飯を作ってきましたが、最後のお昼は、以前にたいへん好評だった「きりたんぽ鍋」にしました。会員さんに教わりながら、現地でご飯を炊き、たんぽづくりから挑戦しました。



活動場所の片付け

活動最終日である今回は、午後から手分けをして片付けをしました。これまでに伐倒したスギを玉切りにして整理し、活動場所の清掃を行いました。



ツリーハウス

平成24年度の活動で作ったツリーハウスです。たよりの右上に描かれている「完成予想図」と見比べても遜色ない仕上がりになりました。

